

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

阿南町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	景観整備事業
事業費 978,450円 (うち支援金: 891,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

地主の高齢化や木材への関心の低下により整備されていない山林が増えており、枯れた木の倒木や張り出した枝、日陰ができることによる冬季の凍結など住民の生活にも支障になっている。

(2) 本事業の目的

道路沿い・公共施設周辺等の森林、竹林等を整備することで、冬季間の凍結防止、見通しの確保を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 荒木地区

(2) 対象者 阿南町民 (阿南町内 各地区)

(3) 実施方法 住民から申請を受け、道路沿い・公共施設周辺等の森林を整備する。 整備後の維持管理については、各区に任せて管理させる。

(4) 事業目標及び当年度事業量

- | | | |
|-----------------------|-------|--------|
| ①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) | 12 箇所 | 1.0ha |
| ②令和 3 年度実績 | 1 箇所 | 0.02ha |

実施前



実施後



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

道路や公共施設周辺等の森林が整備されることで地区の良質な景観づくりができた。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

整備実施後の管理を区に実施していただき、整備後の状況を可能な限り維持していただくことで、森林整備に対する意識の向上が期待できる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

各地区より直接要望があった個所を整備することで、自分たちの身近なところでも森林税が活用されていることが体感できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

事業目標12箇所のうち、1箇所を実施。

対象の森林が整備されたことで、冬季の凍結や視界悪化による事故の危険性等が改善した。

(2) 課題

事業完了後の管理を区(住民)に依頼しているが、住民の高齢化や足場の悪い場所など、住民だけでの管理の難しさも出てきており、継続性について今後検討したい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和3年度時点で全体計画の半分を完了しており、来年度も引き続き事業を実施し、令和4年度の完了を目指す。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)